

道路空間再編

高千穂通り

「通る」から「居場所」
となる高千穂通りへ



令和6年7月

宮崎県 宮崎土木事務所

はじめに



高千穂通り周辺では、宮崎駅西口の民間開発や駅前広場再整備、グリーンスローモビリティ（ぐるっぴー）の運行など、中心市街地活性化の機運が高まっており、令和3年度と4年度に行なった社会実験において、オープンカフェの設置など道路空間の利活用に関するニーズが確認された一方で、歩行者と自転車の輻輳により、歩行者の安全が十分に確保出来ていない状況にありました。

このようなことから、高千穂通りを「居心地が良く歩きたくなる」空間とするために、宮崎駅前交差点から橋通り3丁目交差点までの700m区間（路線名：主要地方道宮崎停車場線（都市計画道路高千穂通線））の道路空間を再編することにしました。



高千穂通りでは、道路空間を柔軟に活用できるようになる歩行者利便増進道路制度（通称：ほこみち制度）を活用し、歩道の中に、“歩行者の利便増進を図る空間”である、利便増進誘導区域（特例区域）を指定することで、オープンカフェやベンチなど歩行者の利便増進に資する施設の設置を進めます。

協議会



高千穂通り周辺地区の道路空間活用協議会は、下の目標を達成させることで「まちなか」の価値向上に寄与するために令和3年に発足し、議論を重ねてきました。現在は下部組織のデザイン検討会が具体的な議論を行っています。

- ◆ 多様なニーズに対応した安全で快適な道路空間の創出
- ◆ 中心市街地の安心で円滑な移動や楽しく滞留できる空間の提供
- ◆ 多様な主体が自由に活動・交流できる環境（仕組み）の創出

<構成メンバー>

- 学識経験者 ○地元自治会 ○道路利用者
- 沿線事業者 ○交通事業者 ○物流事業者
- 高千穂通り植栽活動団体 ○樹木専門家
- 交通管理者(県警) ○道路管理者



社会実験



本地域においては、道路敷を利用し、曜日、時間帯、利用形態に合わせた路側マネジメントを普及することで、「歩きたくなる」道路、「居たくなる」道路を核とした、安全安心で賑わいのある回遊性が高い地域を目指し、以下のような視点で社会実験に取り組みました。

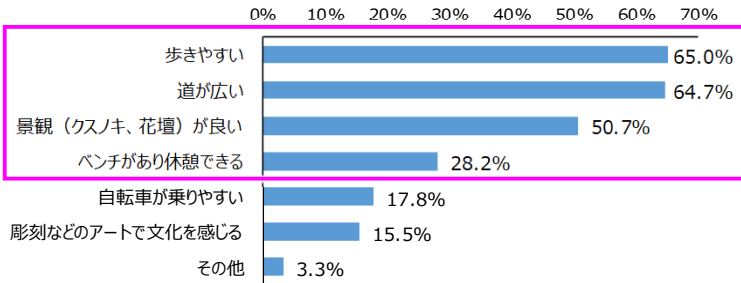
- 日別・時間帯別の道路占用管理 ～たまり空間の創出～
 - I 時間貸しスペース（イベント空間創出）
 - II 荷さばきスペース（集約誘導による棲み分け）
 - III 駐輪抑制スペース（放置自転車対策）
- 道路空間の再配分・運用方法の見直し ～自転車通行空間～
 - I 矢羽根・自転車通行帯
 - II 双方向仮自転車道（車道1車線減）
 - III 一方向仮自転車道（歩道空間内）



近隣事業所勤務者や社会実験参加者等へのアンケート

○ 高千穂通りの良いところ (複数回答可)

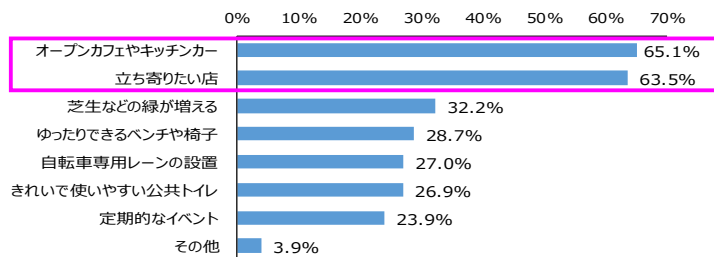
近隣事業所勤務者の声



広さ、楠並木、ベンチが好評♪

○ 高千穂通りがもっと歩きたくなる道路になるために必要なもの (複数回答可)

イベント来街者の声



○ イベント時や日常時の高千穂通りに必要だと思ふもの (複数回答可)

イベント来街者の声

	街中ピクニック	フラワーマーケット
	R3.11.14	R4.11.9-11.11
① ゆったりできるスペース等	68.0%	68.9%
② 使いやすいトイレ	36.0%	25.8%
③ キッチンカーやテント販売	48.0%	38.9%
④ 駐輪場	32.0%	10.4%
⑤ その他	8.0%	1.4%

○ 高千穂通りがあると魅力が高まるもの (上位3つ)

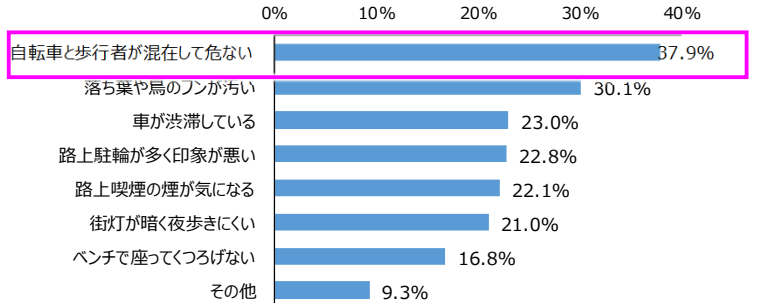
イベント来街者の声

	街中ピクニック				フードトラックピクニック	
	R4.4.28	R4.5.22	R4.7.22	R4.8.5	R4.11.9-11.11	R4.11.20
① ゆったりできるイスやスペース	67.0%	85.0%	74.0%	80.0%	39.0%	64.0%
② 人工芝等を利用した公園的空間	73.0%	45.0%	42.0%	30.0%	17.0%	18.0%
③ みんなが使いやすいトイレ	40.0%	40.0%	53.0%	25.0%	14.0%	36.0%
④ 駐輪場	20.0%	0.0%	16.0%	15.0%	10.0%	9.0%
⑤ Wi-Fi	13.0%	15.0%	26.0%	50.0%	13.0%	64.0%
⑥ その他	7.0%	0.0%	0.0%	5.0%	8.0%	0.0%

ゆったりスペースやキッチンカー、公園のような空間もほしい♪

○ 高千穂通りの悪いところ (複数回答可)

近隣事業所勤務者の声

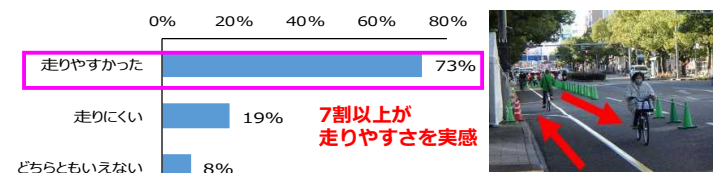


歩行者と自転車を分けてほしい

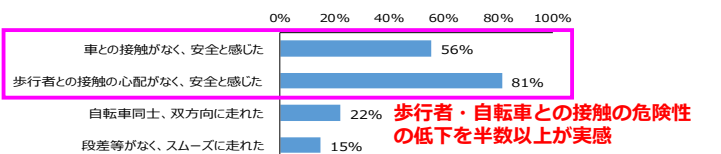
○ 仮設自転車道設置時アンケート (R3.12.5)

走行性について

社会実験時の利用者の声



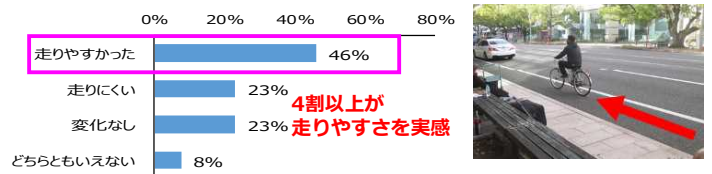
走りやすいと感じた理由



○ 矢羽根(自転車通行帯)設置時アンケート (R4.10.26)

社会実験時の利用者の声

走行性について



○ 日常使いとしての自転車利用について

地域住民の声

「自転車を歩道から外して欲しい」
 「地区住民の自転車利用状況を考えると、自転車通行帯を車道一方通行でもやむを得ないが、矢羽根の幅(1m)では怖いので、広くとって欲しい。」
 「歩道から外して双方向の自転車通行が確保できるのであればそれが良い。」

安全・快適に自転車を使いたい

コンセプト



「通る」から「居場所」となる高千穂通りへ ～ “人” が “安心してくつろぐ空間” の創出～

方針

交流がうまれる空間

1

- ・多様な交流が生まれ、憩うことのできる空間を確保します
- ・多くの人々が協働し、楽しめる場を提供します

方針

歩きたくなる空間

2

- ・安全、安心して歩きやすい歩行環境を形成します
- ・多様な交通手段が共存できる空間を創出します

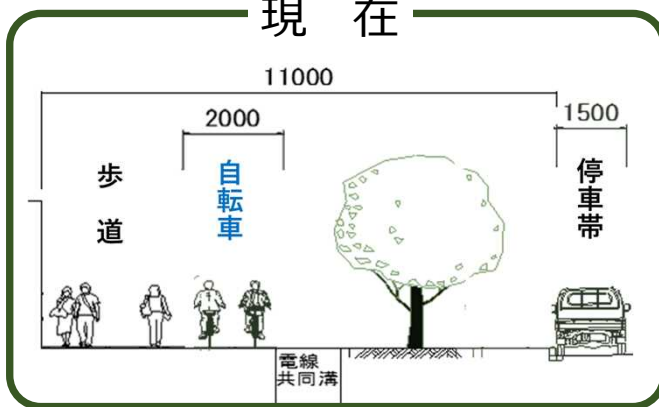
方針

花とみどりに包まれた居心地のよい空間

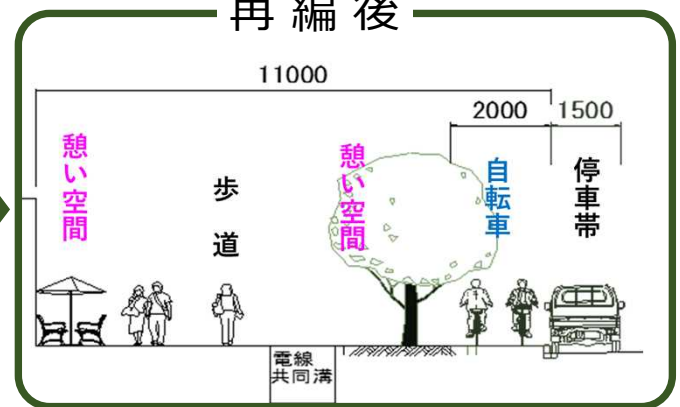
3

- ・緑陰の連続性によって魅力ある緑景観を形成します
- ・新しい顔としての宮崎らしい景観を創出します

現在



再編後



事業内容



延長：L = 700m

幅員：W = 40m

事業内容：

自転車道の新設

憩いの空間の創出

ほこみち制度の導入



事業の状況



令和6年7月時点



「みち」は使われて♪「まち」と共に成長していく♪



発行

宮崎県 宮崎土木事務所
道路建設担当0985-26-7288